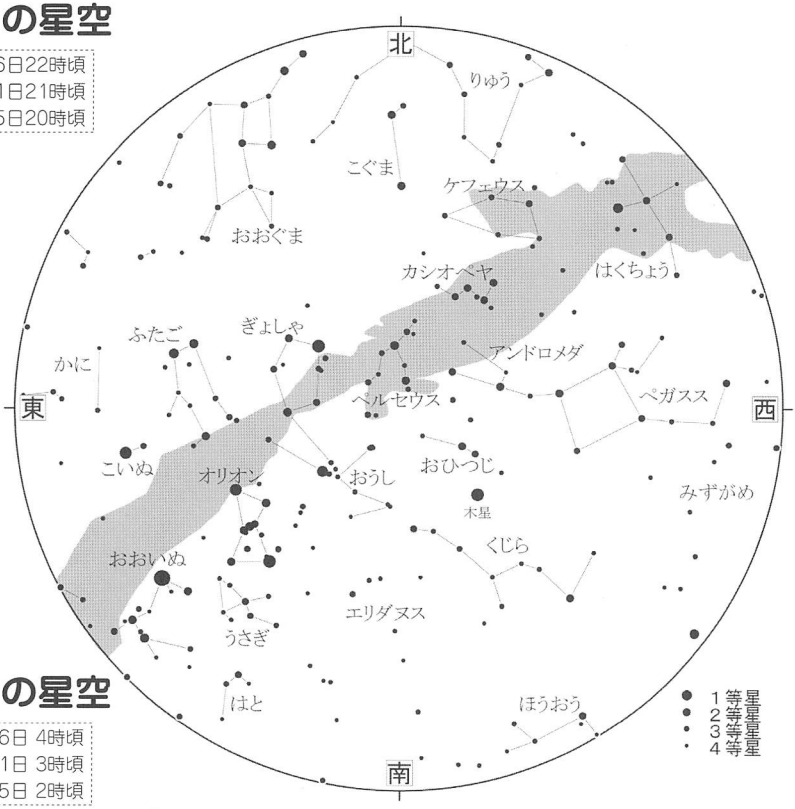
☆星空ガイド　12月16日～1月15日

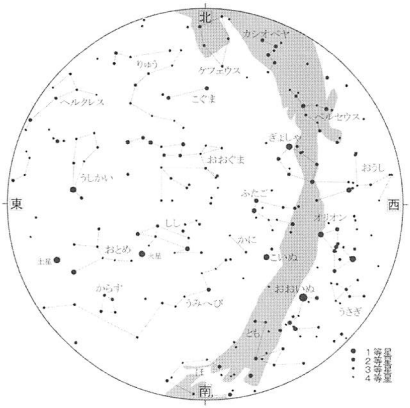
よいの星空

12月16日22時頃
1月　1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

12月 16日 4時頃
1月　1日 3時頃
15日 2時頃



※惑星は2012年1月1日の位置です。

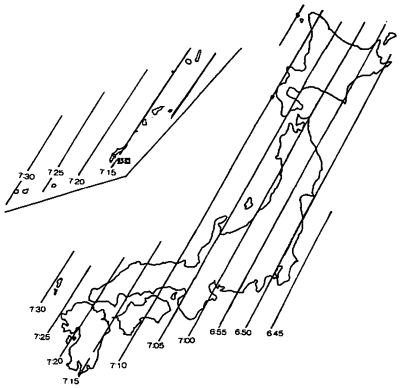
[太陽と月の出入(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
12	16	金	6:57	16:48	22:28	10:34	20.9
	21	水	7:00	16:50	2:54	13:36	25.9
	26	月	7:03	16:53	8:01	18:34	1.4
1	1	日	7:05	16:57	11:20	--:--	7.4
	6	金	7:05	17:01	14:23	4:09	12.4
	11	水	7:05	17:05	19:17	8:01	17.4
	15	日	7:04	17:09	23:37	10:18	21.4

＜初日の出＞

1月1日、初日の出をご覧になる方も多いでしょう。大阪の初日の出の時刻は7時5分です。日の出の時刻は、1分程度の誤差はありますが、毎年ほとんど変わりません。

ところで、日本で一番初日の出が早いのはどこでしょうか。これはなかなか難問です。日本で、となると正解は南鳥島で5時27分になります。



初日の出の時刻線

では、島嶼部を除いた日本本土だったら、となると富士山頂で6時42分です。よく言われる千葉県の犬吠埼の初日の出は、6時46分になります。

図は「こよみハンドブック」に掲載されている、各地の初日の出の時刻を示したものです。冬ですので、太陽は南東方向から昇ってきます。そのため平地では、南東側の地域ほど、日の出の時刻が早くなるのです。

＜しぶんぎ座流星群が極大＞

1月4日の未明、しぶんぎ座流星群が極大となります。この流星群は、ペルセウス座流星群、ふたご座流星群と並んで3大流星群の1つに数えられ、出現数は多いのですが、見ることができる時間が短く数時間の間だけたくさん流れる、という特徴があります。

今年は満月前の明るい月があるため条件としてはよくありません。2時20分頃が月の入りですので、それから夜明け前までが観測に適した時間となります。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
12	16	金	月とレグルスがならぶ（明け方）
	17	土	月と火星がならぶ（明け方）
	18	日	◑下弦（10時）
	20	火	月と土星、スピカがならぶ（明け方）
	22	木	冬至/月が最近（364800km）
	25	日	●新月（3時）
	27	火	月と金星がならぶ
1	1	日	◐上弦（15時）
	2	月	月と木星がならぶ
	3	火	月が最遠（404579km）
	4	水	しぶんぎ座流星群が極大（11時）
	5	木	地球が近日点通過（太陽距離1億4703万km）/月とすばるがならぶ
	6	金	小寒/月とアルデバランがならぶ
	9	月	○満月（17時）
	12	木	月とレグルスがならぶ
	13	金	金星と海王星が接近
	14	土	月と火星がならぶ（夜中すぎ）

江越　航（科学館学芸員）